




流山稲門会新任役員紹介

<p>会計幹事 伊東 孝 (78年 商 1区)</p>	<p>幹事 三木美保子 (68年 文 8区)</p>
<p>流山に住んで33年。昨年1区新年会の案内を頂き、流山稲門会の事を初めて知りました。新年会で多くの方と懇親を深め、その後総会・交流パーティーに参加、この度新型コロナで多難な中、役員に選任頂きました。また昨年6月、41年超のビジネスマン生活にピリオドを打ち、現在は趣味のロードバイク・つるバラ栽培・熱帯魚飼育・読書・孫の世話等で結構忙しい毎日です。今後は本会発展の為、少しでもお役に立てればと思います。</p> 	<p>早稲田へは二年生の時に開通した地下鉄東西線を使って1時間以上かけて八王子から通っていました。卒業以来一度も参加したことのなかった稲門会ですが、4年前に流山に来てすぐにご近所に同窓生がいらっしゃることを知り、入会を勧めていただきました。流山の街にも稲門会にも新米の私に何が出来るのか分かりませんが、早稲田を今も思う心溢れる皆さまのお手伝いが少しでも出来ればよいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。</p> 
<p>幹事 早川 恒男 (73年 教育 4区)</p>	<p>幹事 山本 昌玄 (79年 社学 6区)</p>
<p>1973年教育学部卒業の早川恒男です。学生時代は体育会のヨット部に所属していました。機械商社に就職して、前半は主として国内の発電プラントを、後半は海外の電子関係の営業を担当しました。長期の駐在はドイツ、デンマーク、そして台湾でした。2年前に70才で仕事を辞めて、日本に戻りました。今はただコロナウイルスが早く収束することを願っています。宜しくお願い致します。</p> 	<p>'79年社会科学卒の山本昌玄と申します。出身は千葉市です。入社後東京、高崎、水戸、千葉と関東各地を転々とし'06年2月につくば勤務となった際に南流山4丁目に住まい、定年後を考えるうちに南流山7丁目に落ち着き今に至っています。TXが'05年に開業していなければ流山に住む事も無かったかと思うと流山稲門会には縁を感じます。縁を大事に微力ながら流山稲門会のますますの発展に寄与したいと思っています。宜しくお願い致します。</p> 

地域社会貢献活動 表彰

 <p>西川誠之 64商</p>	<p>2001年県稲門祭に参加した際に、流山稲門会の旗が無く、尋ねたところ「自分で創設を！」と発破をかけられたのが契機で、卒業生に働きかけ、設立し、初代会長を務めました。本年度「流稲会」は創立18年、関係された方々の努力に敬意を表します。その間、井崎流山市長から出馬を要請され、2期8年市議会議員として「子どもたちに笑顔を！シニアに安心を！」をモットーに「市民と市政を身近にすべく」活動し、昨年11月「市政功労賞」を受賞、流稲会からも「地域社会貢献者」として表彰され、感慨深い締め括りとなりました。これら全て稲門会の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。今後も心身尽きるまで、自治会・老人会・少年サッカー/ママさんバレー関係者そして流稲会への返礼のつもりで活動を続けます。万感の思いで感謝！</p>
 <p>牛島康行 73法</p>	<p>私は流山市に33年前から住んでいますが、31年前に流山市の「健康ジョギング講習会」に参加し、以後10年間で300回参加し「流山市コミュニティスポーツリーダー会」から表彰されました。3年後には市教育委員会から「北部地区リーダー」を委嘱され、10年後の2011年にはスポーツリーダー会から「地区リーダー」として表彰されました。現在も毎日曜日、朝7時から8時30分まで「ジョギング講習会」のリーダーを務めています。東深井図書館の側の広場で開催しています。是非、皆さんもお顔を出してみてください。</p> 

東日本大震災 紡ぎ組だより

2011年4月に「復興ぞうきんプロジェクト」を立ち上げて丸9年経ちました。今でも年2回、流山稲門会さんが購入支援をしてくださっていることに心より感謝申し上げます。そしてこの春、思いがけないご縁がもう一つ増えました。娘が早稲田大学先進理工学部に入學し、皆様の後輩となりました。実現できたのは、本人の努力はもちろんですが、「めざせ！都の西北奨学金」と「国際学生寮 WISH」のおかげです。いずれも稲門会の皆様のご支援があるとうかがい、公私ともにお世話になることに感謝するとともに深いご縁を感じていた折、コロナ禍が生まれました。そのため、開講は5月にずれ込み、春学期はオンラインでの授業となり、WISH入寮も現時点で9月頭です。岩手で生活が半年伸びた娘に落胆はありますが、他大学に先んじた判断・対応のおかげで、一度も上京することなく全ての手続きを終え、WISHのおかげで9月までの東京での生活費はゼロ。親としては大きく安堵し、この未曾有の事態の中で早大への信頼感が強まる結果となりました。それもまた諸先輩方が積み上げてきてくださった恩恵だと思っています。これからも子供達が安心して学業に励めるよう、お力添えの程よろしくお願い致します。

SAVE IWATE 紡ぎ組 (盛岡) 岩崎さんよりお便り

流山稲門会会報

発行責任者 会長 高橋孝志
 電話 080-5180-0982
 流山稲門会ブログ LINK→
<http://tnagareyam.exblog.jp>
 入会希望の方は「流山稲門会のご紹介」をご参照下さい。



新会長ご挨拶

流山稲門会五代目会長に就任しました、78年商学部卒業の高橋孝志と申します。本年の総会は残念ながら中止となりましたが、私が初めて参加した総会は第10回です。会計幹事と幹事長を通算6年つとめ、水上前会長の後を任される事となりました。生まれは埼玉ですが、結婚を機に流山に引っ越して33年になります。最初は田舎と感じた流山も今では大変愛着のある土地と感じております。現在私は千代田区岩本町にある税理士法人の共同代表として現役で働いております。時々会員の方から税金の相談を受けることもあります。流山稲門会は現在170名強の会員数です。県内の他の稲門会支部と比べ、会員の数、活発な活動の会として一目置かれており、これも諸先輩方のお蔭であると思います。私も会長として、引き続き母校を陰ながら支え、又地元根付いた会を目指したいと思っております。皆様、是非ご協力をお願いいたします。



高橋新会長

新幹事長ご挨拶

この度、幹事長に就任しました74年社会科学部卒業の石井孝です。今回、新型コロナウイルス禍により総会中止という異例の幕開けでのスタートとなりましたが、改めてこの重責に身の引き締まる思いです。高橋会長はじめ役員の方々と共に当会の発展に努めてまいります。そもそも、東京は隅田川近くの下町墨田区で生を受け育ち、その後仕事でアメリカ、ドイツにて家族ともに長年過ごし、この東初石に来て20年になります。この間公私にわたり無事にここまで来られたのは『稲門』のお蔭があったかもしれません。退職を機に何か恩返しが出来ればと考えていたところ、数年前ご近所の先輩からお誘いを受け当会に参加したのが始まりです。この不思議なご縁を大事にして行きたいと思っております。異例の状況下ではありますがウイルス騒動終息後を見据え、会員相互のますますの親睦、地域への貢献、母校への応援に努めて行きたいと思っております。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



石井新幹事長

水上前会長退任ご挨拶

3月29日を以って流山稲門会会長を退任し、高橋新会長にバトンタッチいたしました。2002年7月に稲門会設立以来、会員の皆様のご支援・ご協力の下に西川(誠)、詫摩、鈴木(一)の諸先輩に続いて活発でしっかりとした組織運営を目指して参りました。今後、ますます発展するものと期待しております。早稲田大学は、私学の雄として社会に認められてお

りますが、大学・学生・卒業生の一体となった更なる活躍・発展が望ましいと存じます。どうか若い校友の皆様も積極的に参加し、校友会を活用し、ご自身とお住まいの地域並びに大学の活躍につなげてくださるようお願いいたします。

水上春男 (69年 理工)



水上前会長

2020年度後半の活動について

感染拡大防止のため校友会本部より9月19日までの各支部活動の中止要請が出され、流山稲門会も活動を自粛して来ておりますが、同本部より今年12月末までの要請延長が発信され、10月のホームカミングデー、11月の県稲門祭は中止となりました。流山稲門会としても10月の稲門交流パーティは中止に決定、来年3月の年次総会は、現時点では実施の方向

で、今後の状況を見て判断していきたいと考えております。大学当局からのコロナ禍学生支援要請に、流山稲門会として5万円支援金を供出、また同好会や有志の方より、個別に多くの支援金を供出いただきました。ありがとうございました。

会長 高橋孝志